

# 2020年度 健康科学部心理学科4回生 専門教育ガイダンス資料

光華naviでの履修登録にミスがあると単位が認定されません。十分注意してください。

## 【履修登録までの流れ】

授業は4月20日(月)から開始します。それまでに各自で通年の時間割(前期・後期)を作成してください。

なおWeb履修登録期間は4月13日(月)0:00～4月24日(金)23:59です。後期履修登録期間で、科目の追加・変更が可能です。後期に受講する科目も前期履修登録期間中にすべて登録してください。

わからない点がある場合は、クラスアドバイザーあるいは教務委員(今西)に問い合わせてください。また、4月13日(月)以降、できる限り早く履修登録を行い、4月16日(木)までにはいったん完成させるようにしてください。

履修科目の取消期間は4月28日(火)です。GPA(学業平均値)に影響しますので、受講を取りやめた科目は必ず履修を取り消してください。

履修登録について、わからないことがある場合は、教務委員の今西までメール(imanishi@mail.koka.ac.jp)で質問してください。

**最終年度なので、卒業に必要な単位数を必ず確認して、計算ミスがないように履修登録すること。**  
**(自由科目は卒業に必要な単位には含まれないので注意すること。)**

## 1. 基礎・教養科目(卒業所要単位36単位。うち、21単位必修、15単位選択)

### <基礎教養科目の履修および再履修について>

卒業に必要な36単位のうち、不足しているものを選択して履修すること。また、単位が取れなかった必修科目は必ず再履修すること。

必修21単位: 仏教の人間観Ⅰ・Ⅱ、シチズンシップ、英語S1a、S1b、S2a、S2b、S3a、S3b、S4a、S4b、

ICT演習Ⅰ・Ⅱ、日本語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、キャリアデザイン講座Ⅰ・Ⅱ、京都光華の学び

選択必修: 健康の科学、スポーツ実技Ⅰ・Ⅱのうちいずれか1科目を選択

選択科目: 残り13～14単位(選択必修でどちらを選ぶかで変わる)を自由に選択

### <基礎・教養必修科目の再履修上の注意>

詳細についてはリベラルアーツセンター配布資料「**基礎教養教育科目の履修について(2020年)**」をご覧ください。

1、2年次の必修科目が不合格になっている人は、必ず再履修すること。

・「仏教の人間観Ⅰ」(前期)、「仏教の人間観Ⅱ」(後期)

クラス指定はないので、時間割上都合の良いクラスを履修すること。

・「シチズンシップ」

bクラス(前期木4)かaクラス(後期火2)のどちらかを履修すること

・英語の再履修については、不合格となったのと同じ科目を再履修すること。

英語の再履修については、不合格となったのと同じ科目を再履修すること。

「英語S1a」前期月5、「英語S2a」後期月5、「英語S1b」前期木5、「英語S2b」後期木5

「英語S3a」「英語S3b」は前期、「英語S4a」「英語S4b」は後期に、Web教材中心の集中講義を履修すること。

・「ICT演習Ⅰ・Ⅱ」を再履修する場合は、月1～4のクラスを自由に選択して履修すること。

・「日本語コミュニケーションⅠ」は前期水5の再履修クラスを履修すること。

「日本語コミュニケーションⅡ」は後期火1aクラス、後期火2bクラス、後期木3cクラスのいずれか(アカデミックライティングと共通開講。専任の先生のクラス)を履修すること。

・「健康の科学」時間割上都合の良いクラスを履修すること。

・「スポーツ実技Ⅰ」「スポーツ実技Ⅱ」についてはリベラルアーツセンター配布資料を確認すること。

## 2. 専門科目(卒業所要単位92単位)

### <4年次の必修科目>

**心理学専門演習Ⅲ・心理学専門演習Ⅳ** ゼミ。必修科目。ゼミ担当教員のクラスを登録すること。

**卒業研究**もしくは**卒業論文**(どちらを選択するかについては「4. 卒業論文と卒業研究について」を参照)

**集中講義として必ず履修登録しておくこと。**

- \*履修登録をしなければ、卒業できないので要注意。
- \*卒業研究は4単位、卒業論文は6単位と単位数が異なり、卒業研究の人は卒業のために専門選択科目を2単位多く取らないといけないので注意すること。
- \*4年次の4月時点で以下の科目を修得していることが卒業論文の履修登録の条件となる。  
「社会と統計」、「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」、「心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ」、「心理学データ解析Ⅰ・Ⅱ」の計12単位を修得済みであること
- \*この科目は通年科目のため、単位を取得できなかった場合は次年度1年間（前期・後期通して）在籍する必要が生じる。

### <4年次から開講される選択科目>

**心理学特別演習Ⅱ** 前期木2。臨床心理学についての理解を深め、心理臨床の実践を行う上で必要となる高度な知識と基本的な考え方、態度を理解・習得する授業。問題の解答を作成することと、その問題の土台となる心理学分野について再度学習することをおして、4年間で学んだ知識をさらに体系化するとともに、自分の身についた生きたものを目指す。大学院受験を希望する人、公認心理師資格を目指す人等をはじめ、臨床心理学をさらに深く学びたいという人に履修を推奨する。

**専門職の連携（応用）** 通年集中。

他職種との連携協働の実際を学習する専門職連携に関する発展的な科目であり、実践力のある専門職として就職するための総まとめ的な学習を行う授業。

**発達支援実習** 通年集中。保育心理士資格科目であり、履修は保育実習Ⅰ履修済みの者に限る。

### <専門必修科目の再履修>

以下の科目は必修なので、単位が取れていない科目は今年度必ず履修すること。

「心理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」（前期・後期金4のaクラス（千野先生）、前期・後期金4のbクラス（礪波）、前期・後期火4のcクラス（藪添先生）のうち自由に選択して履修すること）、「心理学基礎演習Ⅲ・Ⅳ」（前期・後期金3のaクラス（徳田先生）、前期・後期木3のbクラス（鳴岩先生）、前期月3・後期木2のcクラス（藪添先生）のうち自由に選択して履修すること）、「心理学概論」（前期月4）、「社会心理学入門」（前期金1）、「発達心理学入門」（後期火2）、「臨床心理学入門」（前期火1）、「社会と統計」（前期金4）、「心理学研究法Ⅰ」（心理学研究法、前期金3）、「健康科学概論」（専門職の連携（基礎）dクラス、後期水2）、「臨床心理学」（臨床心理学概論、前期月2）、「心理療法学」（心理学的支援法、後期月4）、「発達心理学」（前期水1）、「社会心理学」（社会・集団・家族心理学、前期水2）、「心理学研究法Ⅱ」（心理学統計法、後期金3）

「心理学専門演習Ⅰ・Ⅱ」（4年生ゼミ担当教員の指示に従い、指定されたクラスを履修すること）

- 大学院受験者推奨科目 ※心理学の大学院受験を目指す人に推奨する科目。

**心理学英語文献講読Ⅰ**（後期水2）、**心理学英語文献講読Ⅱ**（前期水2）、**心理学特別演習Ⅰ**（後期月2）、

**心理学特別演習Ⅱ**（前期木2）。

- 社会調査士資格科目 ※「履修のてびき」（pp.298-300）にて履修科目を確認すること

**社会と統計**（前期金4）、**心理学データ解析Ⅰ** a, bクラス（前期木5）、**心理学データ解析Ⅱ** a, bクラス（後期木5）、

**社会調査法**（前期月2）、**社会調査実習Ⅰ**（前期火1）、**社会調査実習Ⅱ**（後期水1）、**心理学データ解析Ⅲ**（後期金1）

- 認定心理士関連科目 ※「履修のてびき」（pp.290-294）にて履修科目を確認すること

次の科目は、必修ではないが、認定心理士取得を目指す人は必要条件となるので未取得の場合必ず履修すること。

**教育心理学**（後期火5）、**心理学実験演習Ⅰ・心理学実験演習Ⅱ**（後期火3・4）

- 卒業論文に必要な選択科目

「卒業論文」の履修を希望する人は、「心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ」「心理学データ解析Ⅰ・Ⅱ」の修得が必要条件となる。

「卒業論文」で質問紙調査や実験など量的データを扱う調査を行う予定の人は「心理学データ解析Ⅲ」（前期木 5）を必ず受講すること。

### ●公認心理師読替科目 ※詳細は別紙参照

公認心理師を目指す可能性がある人は、必修科目に加えて、以下の選択科目を履修すること。

- I 群 心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ（後期火 3,4）
- II 群 認知心理学（後期月 3）、学習心理学（後期火 1）、パーソナリティ心理学（前期火 5）、  
神経心理学（後期火 2）、生理心理学（今年度不開講）、発達障害の心理学（前期木 2）のうち、**2 科目以上**
- III 群 心理アセスメント実習Ⅰ・Ⅱ（前期火 3,4）、プレイセラピー・カウンセリング実習Ⅰ・Ⅱ（後期月 4,5）、  
心理学実践演習のうち、1 科目以上
- IV 群 教育心理学（後期火 5）・教育臨床心理学（後期木 1）のどちらか 1 科目  
犯罪心理学（前期火 2）  
産業・組織心理学（前期月 4） } のうち、**2 科目以上**
- V 群 医療臨床心理学（前期木 3）、メンタルヘルス論（後期火 3）、医学知識（前期火 5、社会福祉専攻）のうち  
1 科目以上

### ●保育士資格取得希望者のみ履修可能な科目

子どもとことば、児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）、家庭支援論、社会的養護、保育原理、教育原理、保健医療保育

概論Ⅰ・Ⅱ、保育課程論、子どもと健康、

および自由科目の地域福祉Ⅰ・Ⅱ、社会保障Ⅰ・Ⅱ、生活保護制度、権利擁護と成年後見制度、障害者福祉、子ども

の食と栄養 b、保育内容総論、乳児保育演習、障がい児保育、社会的養護内容、子どもの体育、音楽療法、図工、レ

クリエーション指導法、保育医療保育演習、保育実習指導Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ、保育実習Ⅰ（保

育所）、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲは、保育士資格取得希望者のみ対象の科目であり、それ以外の者

は原則受講できないので履修登録しないこと（「子どもとことば」、「児童・家庭福祉（子ども家庭福祉）」、「子どもと健康」、「音楽療法」、「図工」に関しては履修したい場合は今西あるいは礪波先生に事前に相談すること）。

### 3. 自由科目・他学科科目履修 \*自由科目・他学科科目履修は要卒単位 128 単位には含まれない

保育士に関する自由科目については、資格志望者のみの履修とする。

上級情報処理士・情報処理士の資格科目及び公務員試験受験対策科目として、心理学科カリキュラム外のキャリア形成学科科目を履修することができる。また、ピア・ヘルパーの資格取得のため、短期大学部ライフデザイン学科の科目も履修することができる。可能な限り今年度履修すること。希望者は科目等履修申請用紙（対象：ライフデザイン学科科目）に記入の上、教務担当教員（今西）に申し出た上で、捺印後の書類を学生サポートセンター修学担当に提出すること（締め切りを学生サポートセンターで確認すること）。

### ●上級情報処理士⑨・情報処理士⑨資格 ※「履修のてびき」（上級情報処理士⑨p.262～、情報処理士⑨p.268～）にて履修科目を確認すること

必修科目：キャリア形成学科科目 情報技術の理解（後期水 5）

選択科目（上級情報処理士 6 単位・情報処理士 2 単位）：

キャリア形成学科科目 情報社会の理解（2 単位）（前期金 2）

自由科目 コンピュータ活用 A（1 単位） a クラス（前期木 2）、c クラス（前期金 2）、b クラス（後期金 3）

コンピュータ活用 B（1 単位） a クラス（前期月 1）、c クラス（前期月 2）、b クラス（後期月 4）

要卒科目 心理学データ解析Ⅰ（1 単位）（前期木 5）、心理学データ解析Ⅱ（1 単位）（後期木 5）

さらに、上級情報処理士希望者は基礎・教養科目「日本文化の理解」を必ず履修すること。

●**公務員試験対策科目** ※公務員を希望する人は「**公務員試験のための履修科目等の説明会**」(4月17日(金))に**必ず出席**すること

参考に、以下に開講される科目、講座を記す。詳しくは上記説明会に出席して確認すること。

キャリア形成学科科目

**公務員特別演習(総合)**(前期火1) **公務員特別演習発展**(前期水5)、**公務員特別演習応用**(後期火5)

**公務員特別演習基礎**(後期木5)

※公務員対策講座は授業外にも開講されているため、そちらも併せて受講することが望ましい。

公務員課外講座(文章理解・数的処理入門・模擬試験)(前期木5)

公務員課外講座(数的処理)※16~18回は3限(17回は4限有)(後期水5)

#### **4. 卒業論文と卒業研究について**

##### **卒業論文**

科目の主題:自分の選択したテーマに適したアプローチに基づいてデータを収集して実証的研究を行う。または幅広いレビューを元にして新しい展望を得て文献研究としてまとめる。

卒業論文の文字数は12,000字以上とする。なお、卒業論文については口頭試問を実施し、評価を行う。

\*4回生の4月時点の修得科目の条件を下記の通り設ける

「社会と統計」、「心理学研究法I・II」、「心理学実験演習I・II」、「心理学データ解析I・II」の計12単位を修得済みであること

\*調査を実施する場合、調査開始前に倫理審査申請書を提出し、審査を受ける必要がある。詳細についてはゼミ担当教員に尋ねること。

\*口頭試問は、卒業論文提出後、**2021年1月27日(水)**に実施する。主査1名、副査1名が論文を査読した上で、計20分の質疑応答を行う。

\*3年次後期の専門演習の最終授業までに卒業論文計画書(A4で1枚)をゼミ担当教員に提出し、卒業論文を選択することの承諾を得ていること。

##### **卒業研究**

科目の主題:先行研究を基礎として自分のテーマに基づいて課題を発見し、心理学的観点から考察することができる。

卒業研究の文字数は6,000字以上とする。

修得科目の条件については設けない。

##### **卒業論文・卒業研究共通**

卒業論文・卒業研究ともに提出期限は**2020年12月17日(木)午後3時**である。卒業論文・卒業研究提出後、

**2021年1月21日(木)**に発表会を実施する。1人10分間で発表する(A3で1枚のレジユメを用意する)。

#### **5. その他の注意事項**

- 卒業要件に関する科目については、1年間に履修登録できる単位数の上限は48単位以内とする。4年間で128単位の修得が必要であり、4年終了時に要卒修得単位が128単位未満の場合、4年間で卒業できず、留年が必要となる。自由科目や他学科科目履修の単位は要卒単位には入らないのでくれぐれも注意すること。
- 大学コンソーシアム京都単位互換制度を利用する場合は、締め切りを確認し、それまでに申請するように注意すること。
- 聴講(履修登録をしていない学科目の受講)を希望する者は、担当教員の許可を得たうえで、修学担当に申し出ること。ただし聴講科目は単位としては認められない。